

# 初心者のための野外活動ボランティア講座①

〈令和4年5月14日(土)〉

## 【目的】

野外活動に関する基礎的技術を習得し、野外活動の実践や指導を行える指導者養成を目的として実施する。

## 【対象】

教員志望の大学生や大学院生、または青少年教育や自然体験教育に関心がある18歳以上の人。

## 【参加者】

参加者10人

## 【プログラム内容】

9:30	はじめのつどい・アイスブレイク	12:45	子どもが楽しめる自然体験活動①
10:00	仲間作りゲーム	14:00	体感！レクリエーション
11:00	施設内見学	16:00	青少年施設のボランティア活動について
		16:30	おわりのつどい

## 「はじめのつどい・アイスブレイク」



はじめのつどいでは、施設ボランティア「くわがた」が簡単なゲームを行いました。参加者はゲームを通じて、コミュニケーションを取り、次第に打ち解けていきました。

## 「仲間作りゲーム」



参加者は、体験学習法を用いた仲間作りゲームを通じて、簡単なレクリエーション、集団での仲間作りの方法や、指導者とボランティアの違い等について学びました。

## 「施設内見学」



施設内にあるキャンプ場や農場を見学しました。施設内見学後に、農場で「いちごの植え付け」と「いちごの収穫体験」をしました。

## 「子どもが楽しめる自然体験活動①」



参加者は、摩擦熱を使った「火おこし」と、楔と金槌を使った「まき割り」を体験し、子どもたちへの指導のポイントや道具の使い方などを学びました。指導は施設ボランティア「くわがた」が行いました。

## 「体感！レクリエーション」



参加者は、レクリエーションの講義と実技を通じて、レクリエーションの指導方法、体験的な学習の重要性や集団における仲間作りの大切さを学びました。

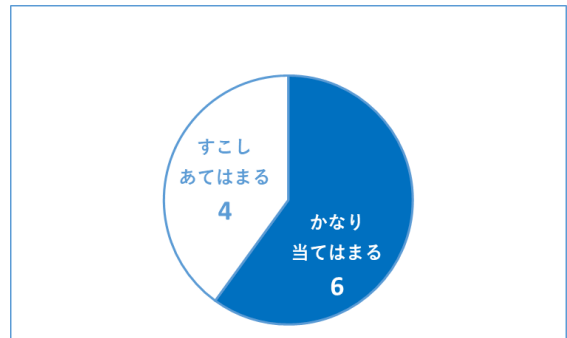
## 「青少年施設のボランティア活動について」



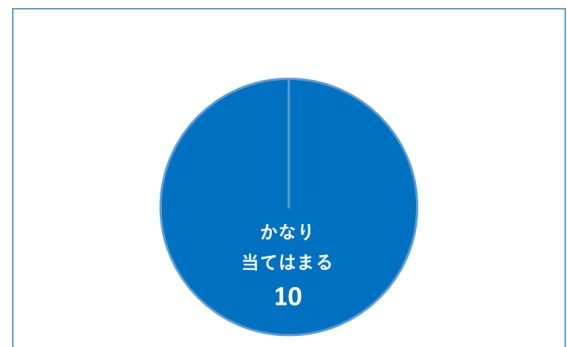
参加者は「仲間作りゲーム」を振り返り、体験学習法や「チャレンジ・バイ・チョイス」の考え方を学びました。また、青少年野外活動センターやその他の団体が行う人材育成事業についても知る事ができました。

## 参加者アンケート結果（回答10人）

① 個人の目標を達成できた。



② 運営スタッフを信頼して活動することができた。



③ 今回のような青少年育成事業があれば、また参加したい。



## ～～～参加者の自由記述～～～

- ・初めて参加する活動になるので、いろいろ知れてよかった。
- ・ボランティアを行ううえで新しい知識を身に付けたいと考えたため参加しました。
- ・キャンプでメインとなるまき割りや火おこしを実際に体験したいと思い参加しました。
- ・とても楽しかったです。機会があれば、野外炊飯や、山の中を散策してみたいです。
- ・充実した時間を過ごすことができました。すごく活動しやすかったです。ありがとうございました。